

令和4年度シラバス（理科）

学番56

新潟県立八海高等学校

教科（科目）	化学	単位数	4	学年（コース）	3学年（普通コース 選択）
使用教科書	「改訂 新編化学」（東京書籍）				
副教材等	「インプレス 化学ノート」（浜島書店）				

1 学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら化学や化学現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験を行い、化学的に探究する能力と態度を育成する。化学の基本概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 指導の重点

教科書を用い、基本的な内容の理解に重点を置く。実験を多く取り入れ、関心や探究心を高めるとともに、しぐみの本質的な理解をめざす。課題プリントや小テストを行い、学習内容の定着を図る。

3 学習計画

月	単元名	教材	指導内容	時間	評価方法
4	1編 物質の状態	教科書 副教材 授業プリント 実験プリント	物質の状態と変化	14	定期考査 小テスト 授業取組 課題提出 実験取組
5	1編 物質の状態		溶液の性質 固体の構造	14	
6	2編 化学反応とエネルギー		化学反応と熱・光 電池と電気分解	15	
7	3編 化学反応の速さと平衡		化学反応の速さ 化学平衡	13	
9	3編 化学反応の速さと平衡 4編 無機物質		電解質水溶液の平衡 非金属元素	15	
10	4編 無機物質		典型金属元素 遷移元素	15	
11	4編 無機物質 5編 有機化合物		無機物質と人間生活 有機化合物の基礎	15	
12	5編 有機化合物		脂肪族化合物 芳香族化合物 有機化合物と人間生活	14	
1 2 3	6編 高分子化合物		天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活	13	

計128時間（55分授業）

4 課題・提出物

授業プリント・課題プリント・実験レポート・レポート・ワークブック・小テストなど

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に共通性を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

以上の観点をもとに、定期考査や実験・授業の取り組み、提出物などから総合的に評価します。

6 担当者からの一言

私たちの身の回りにはたくさんの物質があります。それらの物質は、何ででき、どのような性質があるのでしょうか？化学基礎を基に、より専門的に化学を学びます。教科書だけでなく実験も通して、物質の性質や現象を探究していきます。